

買切案内

2025年6月11日オンデマンド化 日本キリスト教団出版局

キリシタン期洋楽伝来の実態に迫る名著をオンデマンド化！

キリシタン音楽入門

洋楽渡来考への手引き

みながわたつお
皆川達夫 著

音楽史学者。1927年東京生まれ。東京大学文学部卒業、同大学院修了、中世・ルネサンス音楽史専攻。立教大学名誉教授。全日本合唱センター名誉館長。元東京大学、東京藝術大学、慶応義塾大学講師。中世音楽合唱団主宰。2020年4月19日帰天。

キリスト教とともに戦国末期の日本に渡来し、徳川幕府のキリスト教弾圧により消えていったグレゴリオ聖歌とルネサンス音楽……。かくれキリシタンが歌い継いだ「歌オラショ」をはじめ、幻の「キリシタン音楽」の姿を探り続けた西洋古楽研究の大家が書き下ろす入門書。

四六判・並製・186頁・定価2,640円（本体2,400円＋税）

ISBN978-4-8184-5148-3 C0073

目次

第一部 洋楽の渡来

洋楽の渡来
天正遣欧少年使節
関白秀吉御前演奏
音楽史料の欠如

第二部 『サカラメンタ提要』

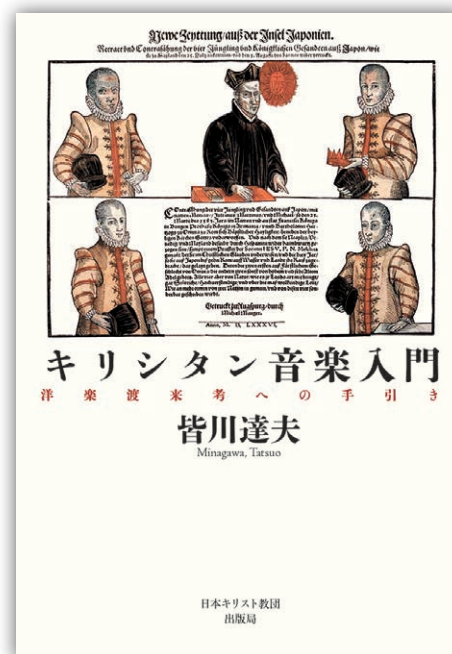
その内容
収録された聖歌
キリスト教弾圧

第三部 『キリシタン・マリア典礼書写本』

もう一つの史料
聖歌旋律の復元
音楽との関連
成立期と収蔵の経緯

第四部 かくれキリシタンのオラショ

生月島の「かくれキリシタン」
生月のオラショ
「歌オラショ」



《ぐるりよざ》

《ぐるりよざ》の原ラテン語聖歌を求めて

第五部 箏曲《六段》の成立について

変奏曲の発想
《クレド》とは
《クレド》と《六段》との重ね合わせ
キリシタン期の日本における《クレド》
ヴィオラ・ダルコによる聖歌伴奏
箏曲《六段》の作曲者